

シラバス参照

| | |
|-------------|-------------------|
| 科目名 | 外国史概説 |
| 配当年次 | 1年次 |
| 開講期間 | 前期 |
| 単位数 | 2 |
| 担当教員 | 石井 龍太(イシイ リョウタ) |
| 期間・曜日・時限・教室 | 前期 月曜日 1時限 17-502 |

| | |
|----------|--|
| ※ | |
| 授業の目的・目標 | <p>【授業の概要】：世界の歴史を紐解くと、一般に想像されるよりずっと古くから、世界各地で活発な交流が行われてきたことが分かる。交流を繰り返して、地域を越えた人間、物品、文化が往来した。そして交流を通じて伝わった外来の文化・習俗が、やがてその地域独特の個性的なものになって行く例は多く知られている。</p> <p>この講義では、主に私達の住まうアジア地域を舞台に展開した文化の動態について扱う。毎回様々な事例を取り上げるが、日本列島を含めた地域同士の比較を重視し、特に「外国との出会い」の歴史を重点的に取り上げる。</p> <p>【授業の目的】：講義を通じ、「日本」と「世界」について考え、世界を見渡す幅広い視野を獲得することを目的とする。</p> <p>【習得できる力】： ① 知識 ⑤ 論理的思考力 ⑪ 生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】：世界の間活動の多様性と共通性について認識を深め、幅広い教養と地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力を習得することを全体の到達目標とする。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】：なし</p> |
| 準備学習等の指示 | <p>この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要です。</p> <p>課題の提出は、Teams、WebClass等のLMSを用います。</p> |
| 講義スケジュール | <p>■1回目 【テーマ】 外国史を学ぶ意味 【到達目標】 「外国史」という言葉が指し示すものは何か、そして自国史以外の歴史を学ぶ意味とは何かについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 「外国」「歴史」という言葉の指し示す意味を複数の辞書を用いて調べておくこと。</p> <p>■2回目 【テーマ】 東南アジア日本人町1 ホイアン日本町 【到達目標】 戦国時代から江戸時代にかけてベトナム・ホイアンに築かれた日本人町の展開と消滅について、当時の国際情勢を踏まえつつ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■3回目 【テーマ】 東南アジア日本人町2 アユタヤ日本町 【到達目標】 カンボジア、フィリピン、タイに築かれた東南アジア日本人町の展開と消滅について、前回講義と比較しつつ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■4回目 【テーマ】 日本鉄砲史1 鉄砲伝来の日本史 【到達目標】 戦国時代に伝来して以来、近代まで日本を代表する武器の一つであったにも関わらず忘れ去られた鉄砲と日本人の関わりについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■5回目 【テーマ】 日本鉄砲史2 火薬兵器の世界史 【到達目標】 中国で発明された火薬兵器が世界へ広まり、火銃だけでなくつほう、火矢等として日本史へと接続していく過程を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■6回目 【テーマ】 日本キリスト教史1 宗教改革の高まり 【到達目標】 宗教改革を契機に世界に広がっていったキリスト教が日本列島へと伝来し、戦国期の日本列島に及ぼした様々な影響について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■7回目 【テーマ】 日本キリスト教史2 キリスト教伝来史 【到達目標】 日本へと伝来したキリスト教がやがて禁教化され、厳しい弾圧の中で独自化していく過程について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■8回目 【テーマ】 日本キリスト教史3 近世近代キリスト教史 【到達目標】 江戸時代を経て近代期に入り、日本人とキリスト教の関係が激変しつつ今日に至る過程を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>■9回目 【テーマ】 漂着のアジア史1 補陀落渡海の諸相 【到達目標】 日本に伝来した仏教が日本神道の聖地熊野の信仰と融合する中で生まれた自殺業・補陀落渡海について、その意味と展開を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■10回目 【テーマ】 漂着のアジア史2 濟州島の伝説形成史 【到達目標】 朝鮮半島南部に浮かぶ濟州島に伝わる「琉球王子漂着譚」がいかんして生み出され、その伝説の生まれた背景にどのような歴史的事件と社会情勢が潜んでいたかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■11回目 【テーマ】 鼠1 鼠の日本史 【到達目標】 鼠と人間の歴史について、特に日本列島と琉球列島の事例を中心に紹介し、鼠が映し出す人間史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■12回目 【テーマ】 鼠2 鼠の西洋史 【到達目標】 鼠と西洋社会の歴史的關係について、特に伝染病ペストの蔓延を踏まえつつ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■13回目 【テーマ】 獅子1 ライオンイメージの形成 【到達目標】 アフリカ、西アジアを原産とするライオンが同地でどの様に観念化されたのか、そしてその観念のみが東アジアに伝わって何が生み出されていったのか、ライオンイメージにみる東西世界の交流史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■14回目 【テーマ】 獅子2 ライオンイメージの世界拡散 【到達目標】 生息域外では、シンハ、シーサー、獅子等と呼ばれながら靈獣化していったライオンイメージが各地域の人間社会をいかに反映しているかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■15回目 【テーマ】 龍 【到達目標】 伝説獣である「龍」は以下に生み出され、アジアの人々の如何なる眼差しを向けられながら今日まで展開してきたのか、イメージの産物が映し出す東アジア史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> |
| 教科書 | 特に指定しませんが、講義中に紹介する参考文献を積極的に参照して下さい。 |
| 参考文献 | 大塚直樹 2010年「ベトナムの世界遺産ホイアンの観光と日本町の記憶」『立教大学観光学部紀要』第12号3月:p. 32-48. 久芳崇2002「十六世紀末、日本式鉄砲の明朝への伝播 -万歴朝鮮の役から播州楊応龍の乱へ-」『東洋学報』84(1) 澤正彦 2009年『日本キリスト教史』草風館 |
| 授業の方法 | 授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。 ・反転授業 ・実習、フィールドワーク なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。 |
| 成績評価方法 | 【評価方法】平常点(授業への参画、受講態度)と試験・レポートで評価します。 【割合】平常点50%、試験・レポート50% 【基準】授業内容に関する深い理解を獲得することが出来たか。 【フィードバック方法】なお、課題等については、 ・実技・実習後、全体に向けてコメントします。 |
| オフィスアワー | 開講日の昼休み |
| 居室 | 17-512 |
| ホームページ | 城西大学経営学部 石井龍太研究室 |
| その他特記事項 | 【ナンバリング : HIS209J】 |
| 添付ファイル | |